

“先生”は女子高生!!

— 鶴南高生が京田小で数学出前授業 —

県立鶴岡南高校（京谷伸一校長）の数学ゼミの2年生2人が23日、鶴岡市立京田小（布川敦校長）を訪問し、中学レベルの数学の出前授業を行った。教わる側の5年生が「公式作り上げ型」の作図問題に頭をひねる中、先生役の高校生もなるとか伝えようと奮励。両者による白熱教室が繰り広

げられた。

先生役を務めるのは宇佐美かのんさん(17)と五十嵐あかりさん(17)。2人は、文科省からスーパーサイエンスハイスクールに指定されている鶴岡南高の数学ゼミに所属し、「教え方による知識定着率の違い」を研

究。「先生に公式や作図方法を提示されるよりも、自分たちで考えた方が定着がよい」との仮説を検証するため自ら出前授業を実施した。

この日の授業では初めに高校生から「今日は三角形にぴったりはまる円（外接円）を描いてみます」と目標設定。12人の児童がコンパスと定規、分度器などを手に三角形外接円の作図問題に取り組み、イメージしやすい正三角形でヒントを学んだ後、3人の班に分かれて話し合いながら鋭角三角形での作図に挑戦。三角形の全ての頂点と接する円が見事作図できると、達成感に満ちた笑顔になった。

金内達彦君(11)は「算数は好きだけど、図形は苦手。ひらめいた時はうれしかった。先生の教え方もすごく分かりやすかった」。

宇佐美さんと五十嵐さんはいずれも教員志望。出前授業は朝陽三小でも実施しており、その際の検証結果によると「一概に公式作り上げ型授業の方が定着するとは言えない」との結論だった。「問題の種類によつて教え方も工夫しなければいけないと思う。教えることの難しさを改めて感じた」などと話していた。

高校生2人が京田小で出前授業に取り組んだ

